

# ！乾燥できないもの！

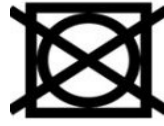
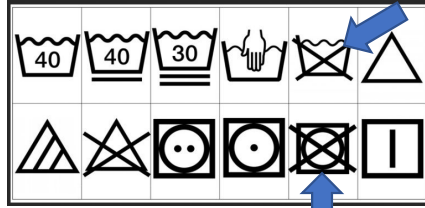


乾燥フィルターの目詰まり、ヒーター内に入り

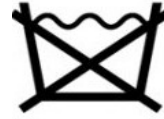
**発火・引火の原因** になります。



衣類製品には必ずこのようなタグが付いています。



タンブル乾燥禁止



洗濯禁止

ほとんどのタオル製品は、

**乾燥機禁止**になっているんです！



洗濯のりが付いたものや上記のような乾燥禁止の表示があるものを乾燥機にかけると**火災の原因**になります。

例) 毛足の長いタオル、ヒートテック等季節インナー(ポリエステル、ポリウレタン、レーヨン、アクリルなど)

※ペットの毛や長い髪の毛等がついた衣類に関しても**火災の原因**になりますのでご注意ください。

タンブル乾燥禁止マークがついているものを乾燥機にかけてファンにホコリが付着してしまったりマスクやヘアピン、コインなどが詰まって排水不良になるなどの場合は**お客様（ご入居者様）過失になる可能性がございますのでご注意ください。**

【注意】乾燥可能なタオルについても同様に注意してください。

タオルは素材の特性上、使用や洗濯時の摩擦により毛羽立ち・毛玉が発生しやすくなっています。洗濯の際はネットに入れて水洗いを5回以上行い、毛玉・ホコリの付着を室外や浴室等でよく取り除いてください。また、柔軟剤は使用しないでください。※タオル販売社注意引用



縮み、しわ、変色、損傷、劣化などの原因になります。

ゴムやウレタンなどを使用した製品、ラテックスフォーム、防水テキスタイルなど製品、布団の綿などのポリプロピレン繊維製品、スポンジなどの樹脂



油などの酸化熱による自然発火や引火し、**火災の原因**になります

油(植物油、動物系油、ベンジン、シンナー、ガソリン、美容オイル、ヘアケア製品、アルコール) が付着したもの、ポリプロピレン繊維の製品



洗濯から乾燥まで連続運転をするコースをご使用される場合は、洗濯最大容量ではなく、**乾燥最大容量である「ドラム半分以下」の洗濯量**でご使用頂かないと洗濯機内部にホコリが詰まり**故障いたします**。また、乾燥終了後は、すぎプログラム(または稼働時間の短い洗濯プログラム)でドラムのクリーニングと、ドアパッキンの拭き上げを行ってホコリを取り除いてください。

※乾燥不可マークが付いている衣類は浴室乾燥機や除湿器をご使用頂き、乾燥を行ってください。

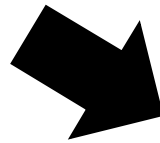



おろしたてのタオル及び衣類は下記の通り洗って下さい



洗濯表記マークを**必ず**確認してから洗濯を行って下さい。  
通常、洗濯可能なタオルであっても**必ずネットに入れて**  
浴室乾燥機及び天日干しを行い、  
ホコリが取れるまで繰り返して下さい（5回が目安です）

※洗濯物がネットに入った少量のタオルだけですと  
偏ってしまいますので他の洗濯物と一緒に洗って下さい。

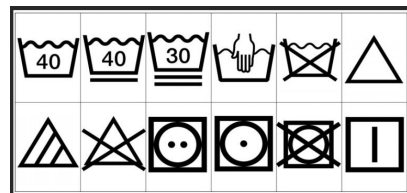


ホコリがドラム内及びドラムパッキンに付着します。  
乾燥不可  以外のタオル・衣類も  
タグ表記を必ずご確認下さい。



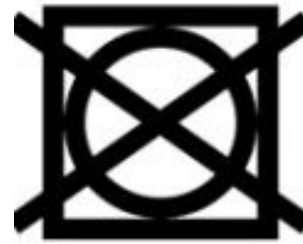
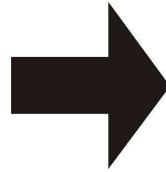
ご確認お願い致します！

↓ 洗濯表記例 ↓



ヨーロッパタイプ  
乾燥機に入れてはいけない衣類

・タンブラー乾燥禁止表示



タンブラー乾燥禁止マーク

・セーター、ウール衣類

・絹製品、毛皮、皮革製品


・吊り干し、平干し表示のあるもの

・のり付けしてある衣類

・ズック靴、スリッパ、帽子、ぬいぐるみ、靴下、下着

・毛足の長い綿（ペットの毛、長い毛髪）

・綿

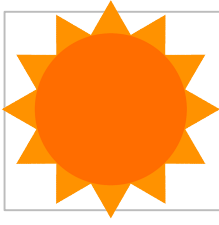
※タンブラー可能マーク  が付いている場合は  
洗濯ネットに入れ、外干しまたは浴室乾燥後に  
ホコリを取り除く作業を5回ほど繰り返していただき、  
完全に毛羽立ちがなくなった状態になりましたら  
タンブラー乾燥をご使用ください。※


・ウレタン、ポリウレタン、レーヨン（発火の恐れがあります）

シルク、刺繍、プリントされている衣類

・私服（おしゃれ着）、マット類

・アロマオイル、シンナー、食用油等



衣類乾燥不可マーク がついている  
衣類のオススメ乾燥方法



洗濯後の衣類を、室内に干せるような  
折りたたみ式の物干しにかけてください。  
物干しの近くに除湿器を起動し乾燥させます。

6畳ほどのスペースの場合、6時間ほどでしっかり乾き  
衣類を傷めずに仕上がりもいいのでおすすめです！  
もちろん、浴室乾燥機がついているお部屋でしたら  
浴室乾燥機もお使い頂いて大丈夫です！

